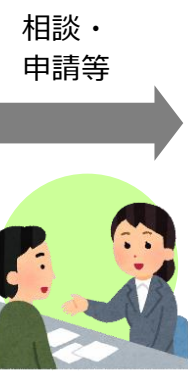


# 複合的な課題を抱える世帯への支援の流れ

## 要支援世帯

- 自ら相談や支援の申請を行うことのできる世帯
- 既存のアウトリーチ事業等の対象となる世帯等



相談・申請等

## どの窓口でも包括的に相談を受け止める

子ども・子育て	子ども家庭支援センター 学校教育支援センター 若者サポートステーション
高齢者介護など	地域包括支援センター 介護サービス事業所
障害	総合福祉事務所 保健相談所 障害者地域生活支援センター こども発達支援センター 障害サービス事業所
生活困窮	総合福祉事務所 生活サポートセンター
その他	民生・児童委員 児童相談所 保育園・幼稚園・小中学校 医療機関 警察 など

福祉・保健相談窓口（支援関係機関等）

関係機関の調整が困難なケース

## 調整困難ケースを連携推進担当がコーディネート



社会資源とのマッチングが必要と思われるケース

## 福祉・保健相談窓口（支援機関）

ケース検討会議で決定した役割分担に基づくサービスの提供

- ひきこもり・8050問題等の複合的な課題を抱えながら、支援が行き届いていない世帯

個別訪問等により把握



## 支援が行き届かない世帯を個別訪問して支援につなげる

- 町会・自治会や民生委員等からの情報や、本人・家族からの相談をもとに、個別訪問を実施する。
- 世帯の抱える課題を把握し、支援関係機関や連携推進担当へつなぐ。
- 必要に応じて、つなぎ先との関係性が安定するまで、自宅訪問等により支援を継続する。

世帯の抱える課題に応じてつなげる

社会資源とのマッチングが必要と思われるケース

## ひきこもりの方などを社会資源とマッチング

- ひきこもり等の社会との関わりが希薄な方を、本人のニーズや状態にあった社会資源とマッチングする。

- <社会資源の例>
- ・ あすはステーション
  - ・ 社会福祉法人
  - ・ 家族会 など



## 世代や属性を超えて交流できる場を整備

- 地域における資源の開発やネットワークの構築等も行う。

- <現在の取組>
- ・ 街かどケアカフェ
  - ・ 障害者地域生活支援センター
  - ・ 子育てのひろば
  - ・ 地域福祉コーディネーター

資料3 「中高年のひきこもりや8050問題など複合的な課題への対応の強化」の  
今後の取組

取組1  
アウトリーチ型の支援を開始

取組2  
連携推進担当を強化  
(増加する調整ニーズに対応)

取組3  
就労サポート拠点「あすはステーション」の機能拡充と増設